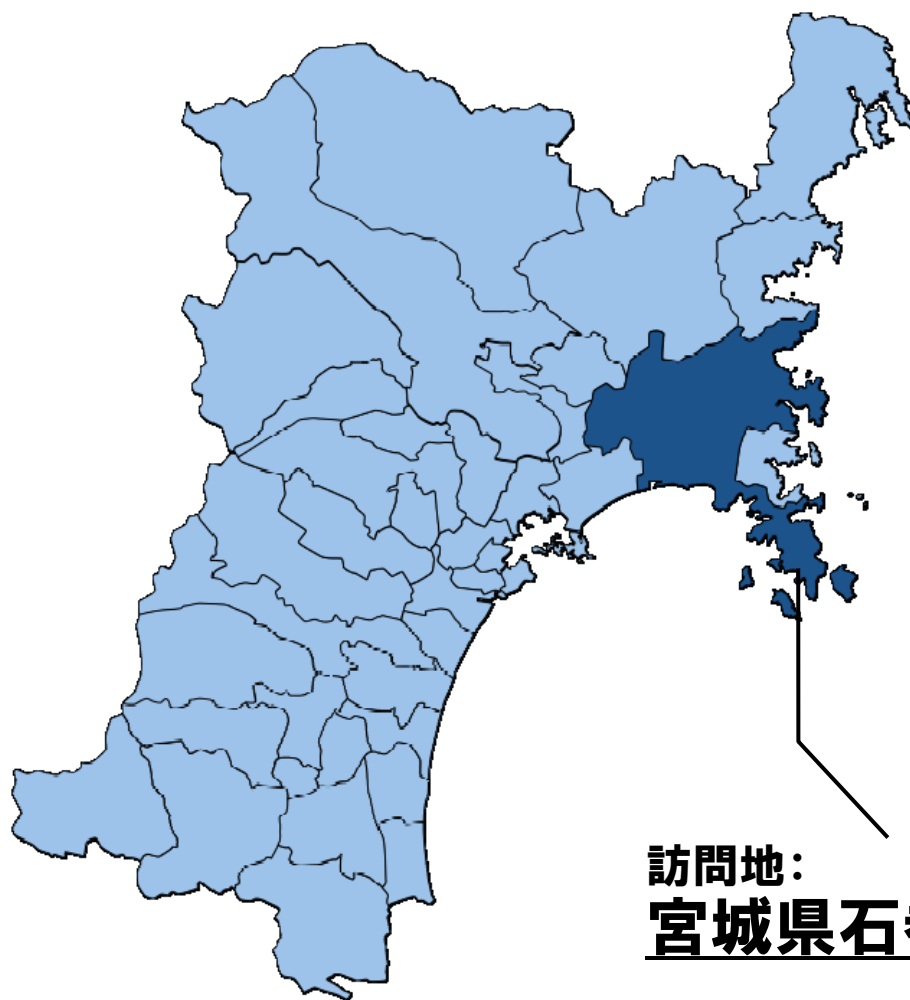


東北支援企画ツアー 実施報告書

【期間：2011/7/15～7/17】



訪問地：
宮城県石巻市

企画・実施： 株式会社 JTБ 法人東京

株式会社 JTБ 法人東京



企画協力： 株式会社エスプール総合研究所



■ ツアーの目的

本ツアーの大きな目的は、被災地に継続的に足を運び、復興に向けて、どのような活動・支援ができるかを「一緒に考え、具体的なアクションプランを実行していく」ことです。

私どもはゴールデンウィークから継続的に現地入りをしており、ツアーは今回で3回目を迎えました。その中で、被災地(特に宮城県石巻市)との繋がり・絆がより強固なものとなってきました。

ツアー参加者は、初めて被災地を訪れた方や、これまでに何度も現地入りなさっていた方など様々ですが、視察やボランティア活動を通して被災地の問題を肌で感じ、東北地方に対する貢献を「個人として」も、「企業として」も考える機会となりました。

■ 復興プランの全体像とこのツアーの位置づけ

東北復興支援は4つの段階があり、それぞれのフェーズに応じて求められる支援内容も変わってきます(下図参照)。現在は第3段階にあり、ボランティア活動と並行して、都市計画レベルの復興プラン策定に向けて準備を始めている段階です。

本ツアーでは、個人・数人グループ単位の支援から企業としてかかわる支援まで、広い視野で復興支援のためのアイデアを意見交換しました。

| | 支援形態 | 支援内容 | 支援者 |
|---------|----------|---------------------|--------|
| 第1段階 | 緊急支援期 | 物資(ヒト・モノ) | ボランティア |
| 第2段階 | 被災支援期 | 安全支援(ヒト) | ボランティア |
| 本ツアーの段階 | 生活復興期 | 生活付加価値支援 (仮設住宅等) | 企業 |
| 第4段階 | 生活・地域再生期 | 復興支援(都市計画) | 企業 |

■ ツアーのスケジュールと内容

ツアーは下記スケジュールに沿って実施されました。

| 月日(曜日) | 行程 | 宿泊先 |
|---------|---|-----------------|
| 7/15(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・JR 浜松町駅 23:30 集合 ・バスで出発 24:00 | 貸切バス 車中泊 |
| 7/16(土) | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市市街地車窓 6:00 頃～7:00 頃 ・鮎川浜地区 牡鹿公民館～大原浜地区 旧大原中学校(ボランティア活動) 9:00～14:00 ・谷川浜・大谷川浜地区車窓 15:30 頃 ・宿泊先: 松島海岸到着 18:00 頃 ・参加者による意見交換 20:00～21:00 | <松島海岸> ホテル牡観 |
| 7/17(日) | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市総合運動公園 仮設集会場(現地の議員の方とのワークショップ) 9:00～12:00 ・仙台市内(東北六魂祭見学) 13:30 頃～15:00 頃 ・JR 浜松町駅到着 21:00 頃 | |

●ツアーの詳細

【7/16】

①石巻市市街地(車窓より視察)

沿岸部を中心に、半壊、あるいは土台だけになってしまった家屋が今も数多く残されていました。また、あちらこちらにがれきの山が積みあがっていました。



(各写真提供:株式会社エスプール総合研究所)

②鮎川浜地区

・ボランティア登録所(牡鹿公民館)の周辺

市街地と同じく、壊れた家屋がそのまま取り残されていました。



③大原浜地区 旧大原中学校

・ボランティア活動(仮設住宅への引っ越し支援作業)

体育館で避難生活を続けていた被災者の方が仮設住宅へ引っ越しをするお手伝いをしました。



大きな荷物の運び先として利用された校舎



体育館横の仮設住宅

④参加者による意見交換会(ワークショップ)

2日目の夜には、「ボランティア活動を体験して」というテーマで、約1時間にわたりワールド・カフェ形式の話し合いを行いました。i)被災地の現状を見た感想 ii)避難所の引っ越し・清掃ボランティアの体験 iii)被災者からの体験談、などを中心に活発な意見が交わされました。



ワークショップを担当した田中講師



真剣に意見交換をする参加者

※ワールド・カフェとは

カフェで行われる会話のように創造的でオープンな雰囲気の中で、対話を通じて知恵とアイデアを生み出すミーティング手法です。

【7/17】

⑤地元議員との討論(石巻市総合運動公園 仮設集会場)

石巻市開成地区にある仮設住宅の集会場にて、地元の元県議会議員、市議員の方々に参加していただき、現地の復興支援課題について6グループに分かれて話し合いを行いました。石巻市における復興支援の具体的な課題は、主に次の3つでした。i)塩害田畑の支援 ii)公的支援が届いていない小規模被災者支援 iii)石巻市および東北復興への継続的支援
話し合いの結果、今回のツアー参加者が中心になって「石巻市の復興支援に焦点を当てて活動を続けていく」ことを決定しました。



地元議員を囲んでのディスカッション



次々と素敵なアイデアが出てきました

⑥東北六魂祭の見学(仙台市)

最後に仙台市内に移動し、東北六県の祭りが一堂に会するイベントを見学しました。地元の人に
加え、観光客もたくさん足を運んでいたようで、震災を吹き飛ばすような活気がありました。



勾当台公園会場



仙台市内の様子

■ 今回の決定事項

- ・当面は石巻市に焦点を当てて、ボランティア活動や復興プラン(都市計画等)推進の支援をする。
(詳細については、今後、具体化を進めていきます)
- ・「Ⅲ 石巻」(トリプルアイ石巻)というプロジェクト名で活動をする。

■ 今後のスケジュール

- ・ツアーの報告会や次回ツアーに向けての説明会を実施する予定です。本企画についてご興味のある方は、ぜひ足を運んでいただければと思います。
- ・次の東北ツアーは下記の日程で実施することを予定しています。
【予定：10/7(金)深夜～10/9(日)】
- ・報告会、説明会、次回ツアーの案内は決まり次第、株式会社エスプール総合研究所 HP にも掲載いたします。(<http://www.sri-inc.jp/>)

今秋以降は、東北復興プランを具体化し、実施に向けて推進していくフェーズに入っていきます。
「何かしたいけど、どこに行ったら良いかわからない」「企業として、どのような支援ができるのか考
えてみたい」というような想いを持つ方は、ぜひ次回ツアーにふるってご参加ください。
みなさま一人ひとりの小さな力が、東北に大きなエネルギーをもたらします！

◆ツアーに関するお問い合わせ先

株式会社JTB法人東京 教育第一事業部 営業第一課

伊藤 充彦(いとう みつひこ)

〒163-1065 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー26F

TEL: 03-5909-8012 FAX: 03-5909-8017 URL: <http://www.jtbbwt.com/>

◆東北復興支援企画活動、本実施報告書に関するお問い合わせ先

株式会社エスプール総合研究所 セミナー運営事務局

佐藤 萌(さとう めぐみ)

〒105-001 東京都港区浜松町 2-6-2 藤和浜松町ビル 2 階

TEL: 03-6402-2170 FAX: 03-6402-2282 URL: <http://www.sri-inc.jp/>